

保育現場の魅力向上支援事業

社会福祉法人福栄会 高取保育園

1. 園の紹介

名称：社会福祉法人福栄会 高取保育園

所在地：福岡県福岡市 早良区昭代2-10-12

園長：松枝 智子

職員数：保育士33名（正職20名・臨時13名）

保育支援員・補助5名

管理栄養士等5名 事務1名

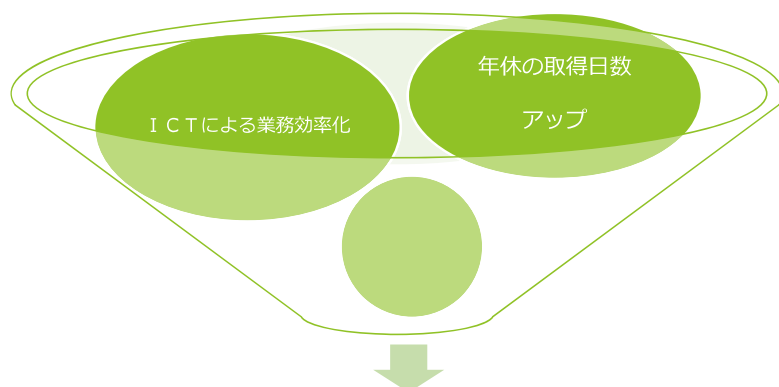
総数43名

保育内容：

「良い環境の中で、良い保育実践をめざし
心身ともに豊かで健康な体をつくることを保育目標
とし、日々子ども達と過ごしています。」



2. 園の課題



4～5年前から色々やってみた・・・もっとよく出来る？

<取り組みたい内容>

休憩時間の取り方・ノンコンタクトタイムと休憩の違い・職員会議での発言

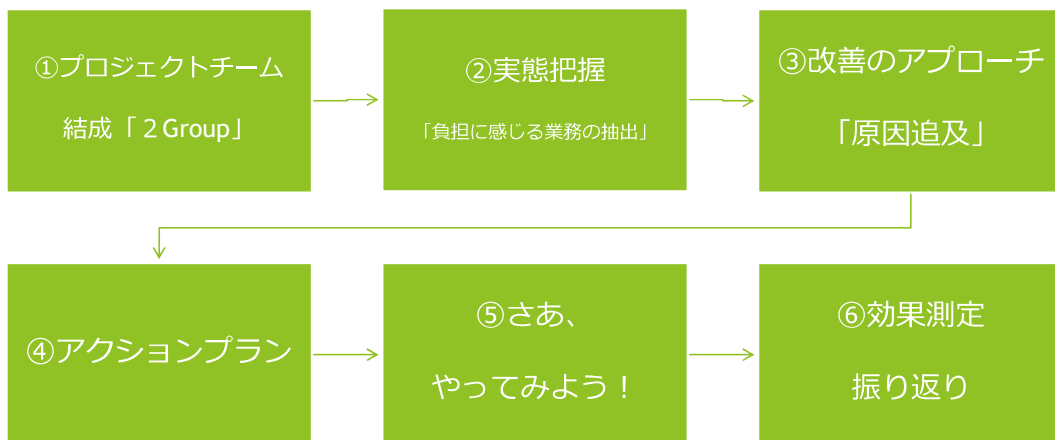
3. 業務改善に向けて

目的：ここで生涯働きたい！魅力ある職場づくり

業務改善とは

- ・今がダメではありません。現状もOK！
　　だけど、工夫するともっとよくなりませんか？
- ・「改革」というほど、大げさなものでもありません。
- ・誰かがやってくれることではありません。
　　園長先生にやってもらうことでもありません。
　　それぞれを理解しながら、みんなで一歩踏み出しましょう。

4. 業務改善のプロセス（全7回）



*プロジェクトメンバー以外の職員についても、周知するようにしました！

5. プロジェクトチームの結成

業務改善のメリット
を理解する

- 離職率の低下
- 採用や教育コストの削減
- 保護者の信頼獲得
- 職員の業務負担の軽減 (ほか)

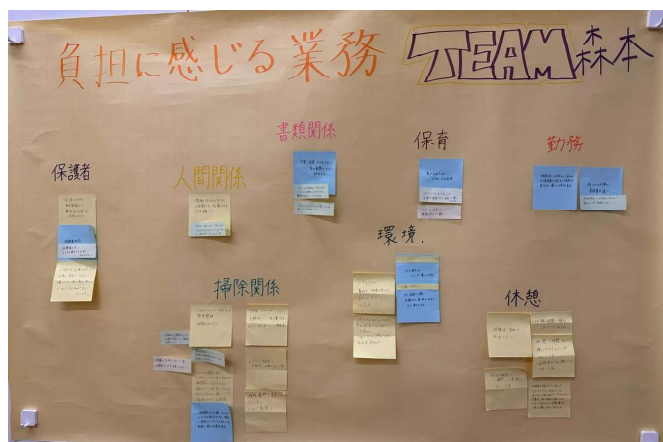
プロジェクトチーム
の結成

- チーム森本
- チームラブリー

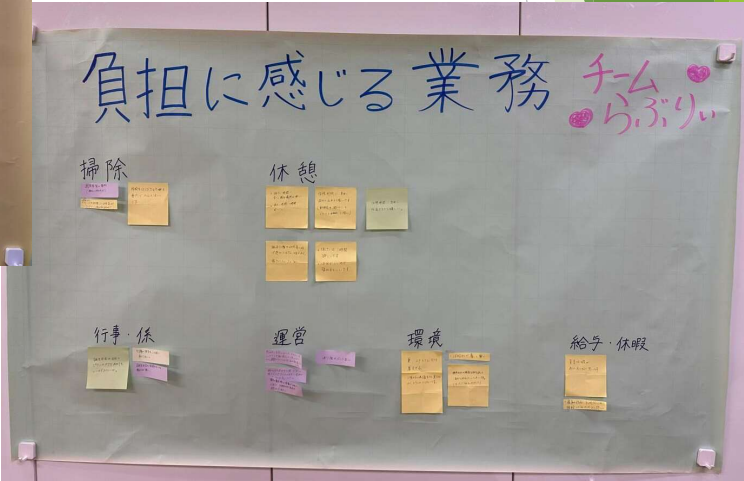
負担に感じる業務の
洗い出し

- 個人レベルで負担に感じる業務を出してみた
- 負担業務をグルーピングしよう

6. 業務の実態把握



ムリ・ムラ・ムダを
発見しよう！



自由闊達に意見が出され、
本気で「改善」に取り組
みたいという気持ちが表
れていました。

7. グループ毎の課題決定

沢山の解決したい課題が出ましたが、今回のプロジェクトで取り組む内容を、
グループごとに1件決定しました。

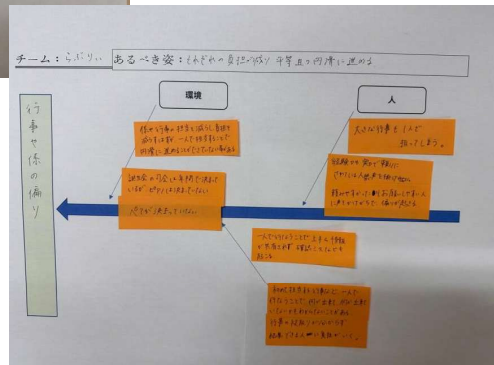
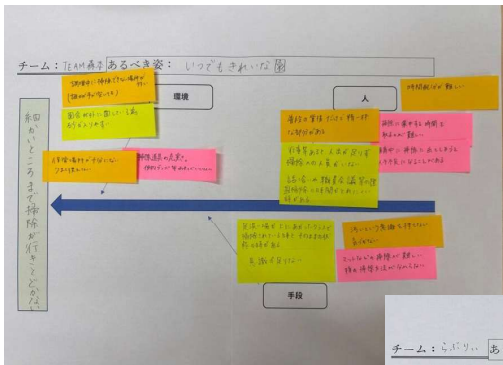
チーム森本

- 細かいところまで掃除が行き届いていないことの原因を解決し、いつでもきれいな園にする。

チームらぶりー

- 行事や係に偏りがあることの原因を解決し、それぞれの負担が減り、平等かつ円滑に行事を進めることができるようにする。

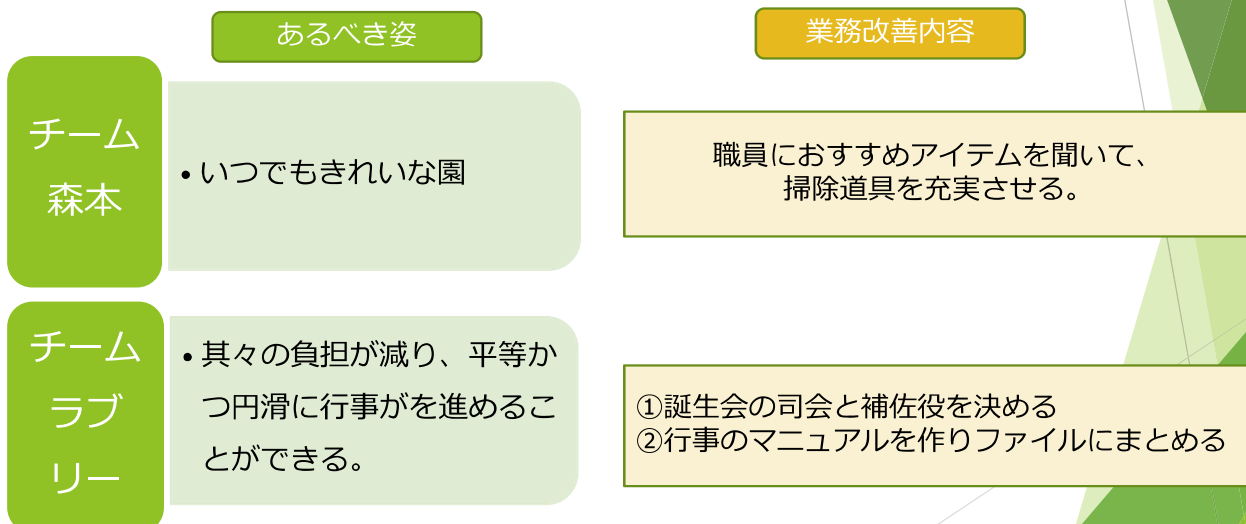
8. 改善へのアプローチ（原因追及）



- ① 到達目標の設定
- ② 課題が発生する原因の追究
「なぜ・なぜ・なぜ」
- ③ 原因の整理
- ④ 原因解決のための解決策を出してみよう
- ⑤ 動ける解決策の立案

9. グループ毎の「あるべき姿」と業務改善内容

それぞれが考える「あるべき姿」（到達目標）と、それに対する業務改善内容は、以下の通りでした。



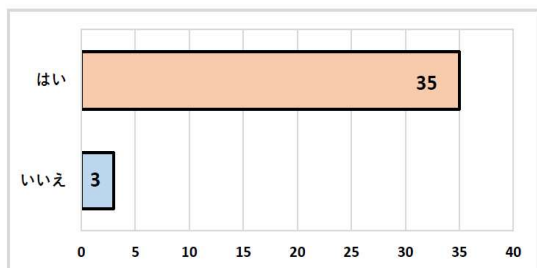
1 2. 効果測定①（アンケートの実施）

実施してみた結果について、園全体（職員区分）でアンケートを実施してみました。

実施日 令和8年1月

回答人数 38名

1：現在、園全体で「保育現場の魅力向上プロジェクト」に取り組んでいますが、その目的を知っていますか？



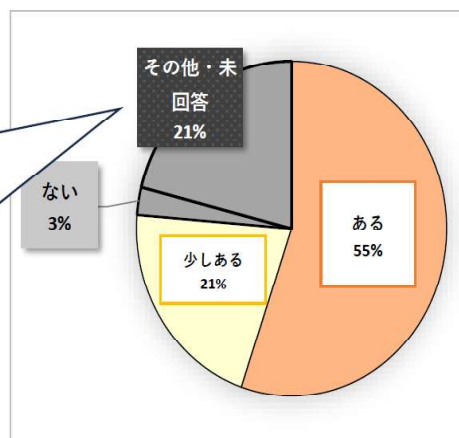
プロジェクト参加者以外の方を含め、92%超の方に周知できていました。

1 3. 効果測定②（アンケートの実施）

取り組んだ結果、あなたの業務に何か良い影響はありましたか？

その他の意見として・・・

- 来年度の行事について取り組んだため
どのような影響が出るかこれからみていきたい
- オススメアイテムを取り入れたことで、時間短縮
につながった
- きれいになったことで、生活しやすくなった
- 直接関わる機会がなかった



76%の方が業務に良い影響があると感じています。

1 4 . 効果測定③（アンケートの実施）

どのような良い影響がありましたか？

- 行事の改善を行った結果、担当の偏りが減った気がする
- 業務時間の減少から他の仕事への準備を進めることができた
- 手軽なアイテムが増えたことにより、やる気アップにつながった
- 様々な意見を知るきっかけとなった
- 業務効率が上がった
- 職員同士の連携が取りやすくなった

『掃除がやりやすくなった』という意見が多くみられました！！

1 5 . 効果測定④（アンケートの実施）

今回のプロジェクトに参加した感想

- ▶ 園での改善点がたくさん出てきたが、少しずつ改善していくことで業務が楽になったり、進めやすくなった。
- ▶ 現状に不満を持つだけでなく、どう改善していくかを分析することで変えていけることを実感した。
- ▶ 意見をまとめるのは難しかったが、意見を出し合うことで、改善すべき点を見つけるきっかけとなった。
- ▶ 自分の職種では気づかなかった困り事を知るきっかけとなり、その意見を聞いて自分も協力できるかもしれないという考えを持つようになった。
- ▶ 細かい部分まで深く考えることで、改善に繋がる問題点が見え、驚きを感じた。
- ▶ 今ある環境が十分であると感じていても、さらに上を目指す皆さんがカッコいいと思った

16. アンケート結果【総括】

- ① プロジェクトは選抜チームで進めて参りましたが、他の職員に対する周知がなされたこともあり、職員全体への周知が十分に行われていたことがわかりました。
- ② わずかではありますが「難しかった」と回答された方が15%程度ありました。特に、沢山だされた意見を取りまとめることに難しさを感じられたようです。
- ③ 第1回目の取組み終了後、新たな取組みとして、2グループ合同で、「休憩時間の確保」にも取り組んでいただきました。
- ④ 今回のプロジェクトで終了するわけではなく、更なる改善の目も育っているようです。「現状に不満を持つだけではなく、どう改善していくかを分析することで変えていけることを実感した。」と大変うれしい肯定的なご意見もあり、今も魅力的な園が、**更に魅力的な園**になる予感がします。

アドバイザー 野田 小夜子

17. プロジェクトを通して

今回、保育現場の魅力向上支援事業に応募して大変よかったです。休憩・ノンコンタクトタイムの時間の確保や、職員会議等で意見が出にくいといった課題を感じていて、専門家の支援があることで問題解決に少しでも繋がればと思っていました。

しかし、プロジェクトが始まると、管理職と現場の保育士の抱えている改善点に違いがありました。支援事業の担当を任せられた職員たちからは、意見箱の設置や行事・係の見直し、掃除グッズの導入といった具体的な提案がでて、実践されていきました。

この乖離に気付けたのもこの事業に取り組んでなければ見えなかったことだと思います。そして、職員自ら湧き上がる、前向きで生産的な思考と実践力の高まりは、職場にとって大きな財産だなと感じました。支援事業を受けなければ、職場内だけで今も課題に頭を抱えていたと思います。

今回、支援事業で育った芽を摘むことなく、よりよい職場づくりに向けて引き続き、前向きに取り組んで参ります。

園長 松枝 智子



もっと魅力ある
園になる



社労士法人NODAオフィス

福岡県太宰府市朱雀3-6-2

代表 野田小夜子

☎092-921-3313

Mail : sayoko@sharoushi-noda.com

<http://sharoushi-noda.com/>